

実施報告

令和2年度(2020年度)子どもゆめ基金助成

はじめよう！アニメテッドラーニング 朝霞で見つけたモノを観察してアニメにしよう！YouTube で発表しよう！
3日間 対面&オンライン

開催日時	2020年12月27日(日)、2021年1月6日(水) 13:30～16時 2021年1月7日(木) 16時～17時
開催場所	埼玉県朝霞市弁財市民センター、リモート参加可能
主催	一般社団法人アニメテッドラーニングらぼ
協力	文化学園大学 文化・住環境学研究所 埼玉県朝霞すみどり公園課
助成	令和2年度子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立青少年教育振興機構) 子どもの体験活動助成活動「アニメで考える、伝える、気候変動とわたしたちの未来」 助成活動の目的：子どもの地域との係わりが減る一方、外国人が増えて異文化交流が増えている。言語だけに頼らず、視覚言語であるアニメをツールとし、その制作と発表を通じて、自分と異なるモノや人の目線で、地域の自然や文化あるいは身近な課題を見つめ、子どもが自身の考え、気持ちや気づいたことを伝え、仲間と話し合いながら見つけた解決案等を発表するスキルを高める。 到達目標は「ひとりでアニメをつくり、ネット配信できること」また「生活圏にあるモノを通して地域を見直し、その気持ちなどをアニメで表現すること」。
活動概要	● 参加者がアニメ制作を学びながら、自分の気持ちやアイデア、自分が発見したり考えたコト・モノを言葉だけでなく、視覚言語でも表現し発表することを学ぶ。 ● 指導には主催者の「アニメテッドラーニング 指導者向けガイダンス(インターネット版)」の練習ワークを用いる。 ● 新型コロナウイルス感染症予防のため、ワークショップは対面参加に加え、希望者にはリモート参加も可とした。また、アニメ制作は個人でおこなう、地域の語り部などのゲストは招かない、全員参加の屋外観察はおこなわないこととした。
対象と募集	● 対象：埼玉県朝霞市と周辺市の在住者および通学者。小学5年生以上、中学生と高校生も参加可。 ● 募集人数：10名以上、最多数は20名。参加登録は先着順。 ● 参加費：300円(ボランティア保険加入費。全日リモート参加は無料) ● 告知：朝霞市立第5小学校、第7小学校、第10小学校の5、6年児童と第3中学校の生徒全員、児童館等にチラシ約3000枚を配布し、公園近隣市掲示板にポスターを掲示した。 ● 専用サイトで事前申込：http://alljp.org/workshop2020asaka ● 新型コロナウイルス感染症対策：感染拡大や社会状況により中止、内容変更、募集人数の変更等をする場合があることを通知した上で参加者を募集した。
参加者	1名(小学6年生、リモート参加)
講師等	● ファシリテーター：伊藤裕美(アニメテッドラーニングらぼ)、浪越徳子(同左) ● アニメーション制作ファシリテーター：細川梨奈、佐竹美紀

目次

1. アニメテッドラーニングらぼの到達目標	P2
2. 主催者、アニメテッドラーニングらぼのふりかえり — 目的達成の自己評価	P2
3. 当日の進行	P3
4. 参加者が制作したアニメーション「ありがとう 205系」	P6
5. 当日の記録	P7

1. アニメテッドラーニングらぼの到達目標

学びとまちづくり	● 参加者にみじかな地域へ目を向けさせる：参加者が通う学校や通学路、あそび場・公園、居住地の近くで見つけた”モノ”を選ばせて、そのモノにまつわる物語をアニメにしてインターネットで発表する。
物語化し、アニメにする	● 参加者だけでアニメをつくり、発表できるように練習する。 ● 参加者が選んだ”モノ”を主人公とする物語をつくり、短いアニメを制作する。
アニメ(伝えたいコト)の発表とふりかえり	● ネット配信：アニメをYouTubeに投稿して発表する(主催者ウェブサイトで公開)。 ● ふりかえり：当初計画では参加者アンケートをとり主催者ウェブサイトで公開し、参加者同士のアニメへの感想や意見は主催者が本人に伝えるとした。実際は参加1名であったため最終日に参加者とファシリテーターとでふりかえりをおこなった。
指導者向けガイダンスの検証	● 「アニメテッドラーニング 指導者向けガイダンス(インターネット版)」の練習ワーク0、1、2の実践性を検証する。

2. 主催者、アニメテッドラーニングらぼのふりかえり — 目的達成の自己評価

全体評価

- アニメの動きによる感情表現を学ぶ練習をした上で、参加者が選ぶテーマでアニメを制作した。
- 参加者が「JR 武蔵野線から引退後、インドネシアで活躍している鉄道車両に感謝を伝える」というテーマを決め、参加者が準備した部材を使い、表現を工夫しながらアニメを完成させた。伝えたいコトを、社会的視点を持ってアニメに置き換えて誰かに伝える楽しさを体験させられ、視覚表現による意思伝達への意欲を引き出した。
- 指導者向けガイダンスの練習ワークを検証した。新型コロナウイルス感染拡大で参加者はリモート参加1名ではあったが、ガイダンス開発に帰する結果を得た。
- 弊法人初のリモート開催で懸念はあったものの、運営に大きな混乱はなく、すべての予定をこなした。今回は参加者のネットやデジタル機器経験や技量に助けられた部分が多い、例えば ZOOM や YouTube、タブレットや PC の利用に慣れておりリモート参加のハードルが低かった。現在の小学6年生が概ねこのよう知識経験と技量を持つか定かでは無いが、リモート授業や IT 教育を推進する文科省方針により今後は児童生徒の技量は高まると予想される。
- リモート実施の課題、弊法人が改善すべき点：
 - 多様な学習能力、IT 技能、コミュニケーション力、知的好奇心を持つ参加者の状態・状況にリモートでも対応できる経験値の蓄積、ワークショップの実施と検証、そしてファシリテーター養成などの態勢を充実する。
 - リモート会議アプリ機能の活用法やリモートに適した指導法、参加者各自が準備する材料や道具などの研究を進める。
 - 少人数の指導者でもリモートでグループ指導できるよう研究を進める：グループで学びを深めること、話し合いで物語やアニメの計画を進めること。この分野の専門家との協力関係も築きたい。
 - 同一画面を複数人がリモートで作業できるアプリ等の探求も必要と考える。

募集人数を大幅に下回った参加

- 新型コロナ感染症感染拡大が収束せず、当初予定した対面活動だけでなくオンラインによるリモート参加も可能とした。複数の問い合わせはあったものの、保護者の負担等もあり参加者が増えなかった。
- 小中学校の始業と1月の開催日が重なり、希望しても参加できない者もいたため、今後は教育委員会とも相談しながら開催日を決定したい。

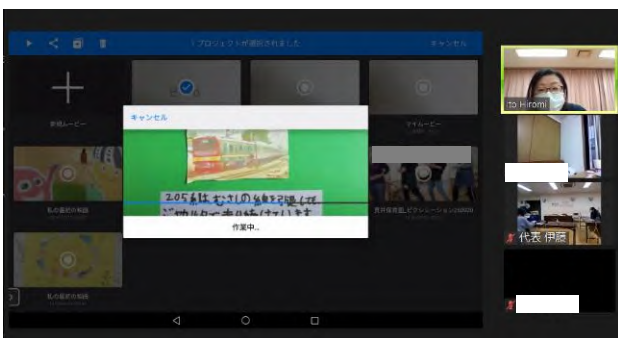
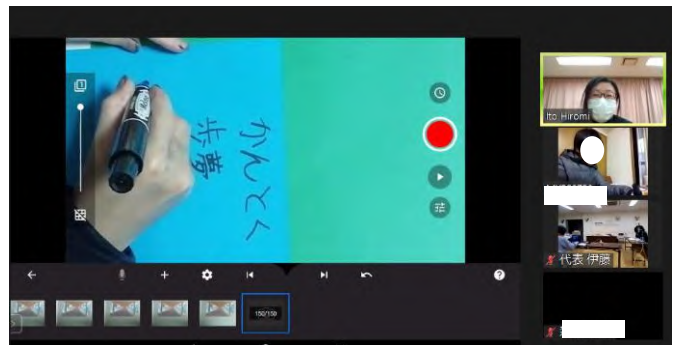
リモート参加者に要請した準備：
スマホ、タブレット、パソコン(カメラ付き)のいずれか1台
インターネット接続(重量課金ではなく、定額課金制)
工作の道具や材料

本ワークショップで得た知見

- アニメ制作はリモート指導できる：
 - デジタルネイティブにはデバイスやアプリの操作に障害がない。
 - 現時点では、1 対 1、1 対少人数に適している。
- リモート参加の課題：
 - リモートに適したチーム作業ツールや指導の準備が必要である。
 - 自宅参加： 保護者等の理解と経済力の違いによる、新しい格差が懸念される。
定量性ネットワーク、アニメ制作用の機材(タブレットやスマホ)の確保が負担となる。
数時間・数日単位で集中できるスペースや環境の確保が難しい。
 - 参加者にアニメ制作や表現力の基礎的な練習も必要： アニメーション指導ファシリテーターから、アニメ制作の基礎練習(短い時間で、参加しやすい形態)をおこなってから、アニメテッドラーニング方式のワークショップをおこなうと良いという意見があった。
- リモートでは、アナログな指導がやり難い：
 - 物語の開発などで付箋を使う KJ 法を用いようとしたが、参加者が KJ 法に慣れていなかった。Zoom の「ホワイトボード」など、話し合いでもデジタルツールを活用すべき。
 - スクリーン越しのもどかしさ： 参加者がフレームアウトして行動を確認できない時がある。
画用紙や粘土などの物質の扱い方の指導がやり難く、指導者が参加者と異なる材料や道具を使とより難しい。

3. 当日の進行

リモート活動の環境



● リモート会議アプリ

ZOOM ミーティング(有料版)

参加者側にアニメ制作機材用と参加者を写すカメラ用のアプリ 2 回線を用いた。

● コマ撮りアプリ

Stop Motion Studio(無料 Android 版)

- 参加者に要請した事前準備に関する配布資料「朝霞 WS のコマ撮りの準備」 P15 参照

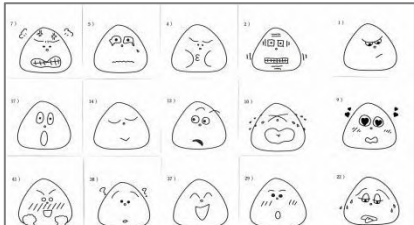
事務局が参加者に貸し出した機材

- タブレット(Android)／Stop Motion Studio インストール済み 1 台
- 三脚 1 台
- タブレットホルダー 1 個

その他に、スマホ用簡易ホルダー、文房具等

3 日間の進行

1 日目 12 月 27 日(日)、13:30～16 時

時間	内容
13:30～13:45	【ウォームアップ】 ● ワークショップの予定。 ● スタッフの紹介。 ● 参加者の自己紹介。 ※リモート参加のみのため、ウォームアップのアクティビティなし。
13:45～14:15	【練習ワーク0】 「この動きは、どんな気持ち？」 ● 参考アニメ(1)、(2)、(3)を見て、アニメの中のモノの「動き」が表す気持ちを感じ取り、15 枚のおにぎり顔カード(三角おにぎりに顔の表情を描いたカード、下図)から気持ちに近いカードを選ぶ。 ● オノマトペ(擬音語・擬声語・擬態語など)をつけながら、アニメから感じた気持ちを表してみる。 ● 参考アニメ(1)は単純に気持ちを感じ取り難いため、「気持ちが分からない」も可とする。 ● (2)と(3)は、気持ちに近いおにぎり顔がなければ、白紙のカードに気持ちを書き込み可とする。 練習ワーク YouTube 1-1 https://youtu.be/G6vahKZm4Ks 1-1 https://youtu.be/rB7b3GjWxU 1-2 https://youtu.be/zfyR61jheWY 1-2 https://youtu.be/d37_MS7K67U 1-3 https://youtu.be/uo7kBEg9Si8 1-3 https://youtu.be/ZB_vvIo9zao
	 おにぎり顔カード https://www.act8.tokyo/
14:15～14:45	【映像あそび】 機材・道具の設営、アプリの説明 ● 参加者のカメラ設置と撮影台の確認:カメラ横置き、上からの撮影。 ● おにぎり顔で試し撮り。 練習アニメーション おにぎり顔: https://youtu.be/vrKr1Kli4mw
14:50～15:30	【練習ワーク1】 「いまの気持ち、 미래の気持ち」をアニメで表現する。 ① 自分のいまの気持ちに近いおにぎり顔カードを選ぶ。顔に書き足しも可とする。 → ファシリテーターが課題「星が降ってくる」(右図の切り絵を事前に渡してある)を伝える → 課題に遭遇後の、自分の未来の気持ちを想像して、おにぎり顔を選ぶ。 ② ①の流れを起承転結のある物語として、各自が考えた物語をコマ撮りアニメにする。 ③ 完成したアニメを見ながら、感想や意見を出し合う ● 動きで表現できることを感じさせる。 ● 動きだけ(現在の技量)で表現できないことを気づかせる。 練習アニメーション 星が降ってきた!: https://youtu.be/LpcZG6v3oCk
	
15:25～15:55	【練習ワーク2】 プリプロダクション: アニメでつくりたいモノと物語を発表、タイトル撮り ● 参加者が、アニメでつくりたいモノを発表。 ● 参加者が、つくりたい物語案を発表。 ● アイデア出し: 参加者が付箋に書き出す。 ● 参加者が選んだテーマ: JR 武蔵野線を引退した 205 系電車がインドネシアへ行って活躍する。2020 年秋に JR が引退を発表したこと。北朝霞駅などにファンが集まった。 ● キャラクター: 参加者が準備した、205 系電車(右写真)と 231 系電車の写真の切り絵。 ● 背景: 参加者が準備した、JR 北朝霞駅などの写真。
	
15:55～16:00	【クールダウン】 ● 次回ワークの説明 ● Q&A

2 日目 1 月 6 日(水)、13:45～17:00 — 予備:17:00～17:30 としたがワークは 17 時に終了

時間	内容
13:45～13:50	【ウォームアップ】 ● ワークショップの予定。
13:50～14:00	【撮影の準備】 ● 参加者の設営を確認。
14:00～14:25	【練習ワーク 2】 プリプロダクション：物語づくり ● 前回考えたテーマと主キャラクターの確認。 ● テーマに関して調べたことを発表。 ● 伝えたいコト:なにを、誰に伝えたいか？を考える。 ● 三題晰: ● 付箋に書きだしたアイデアの確認 ● 新しいアイデアがあれば、付箋に書きだす。 ● 付箋を、物語の順番に並べる。 ● ファシリテーターは、受け手が理解できる／受け手のところに届く物語を考えるように促す。 ● 著作権等の保護、プライバシーの保護を話す: ● 他人の著作権等を守ることは、自分の権利を守ること。 ● 自分の顔や名前、個人情報にはむやみにネットで公開しない。 ● 出典の記録と表示: ネットや本から写真等を使うなら、どこから借りたか(URL、本の名前や著者)を記録し表示する。 ● アニメに出典等の表記すること: 1. アニメの最後(エンドクレジット)に書き出す。 2. 挿入したところに表記する。
14:25～15:30	【練習ワーク 2】 プリプロダクション：キャラクターと背景をつくる ● キャラクター: 参加者が準備したものを確認。絵で描く、書き足す必要があれば、描かせる。 ● JR 武蔵野線 205 系電車と 231 系電車の写真(切り絵) ● 背景: 参加者が準備したものを確認。 ● JR 北朝霞駅の写真 ● インドネシア、ジャカルタの駅の写真 ● 小道具: 必要な物をつくる、描く。 ● セリフ、エンドクレジットを画用紙に書き出す。
15:30～	【練習ワーク 2】 プリプロダクション：タイトルを撮影する
～16:40	【練習ワーク 2】 撮影する ● アプリ Stop Motion Studio でコマ撮り。 ● 音入れはしない。音楽はつけない。
16:45～16:55	【練習ワーク 2】 YouTube に、完成アニメをアップする ※完成アニメーションのデータをタブレットから YouTube か Google Drive にアップしようとしたが、貸出タブレット設定のため参加者が YouTube にも Google Drive にもログインできなかった。 そのため、貸出タブレットを回収して、完成アニメーションのデータの取り出しは事務局がおこなった。 なお、参加者が YouTube のアカウントを持ち、YouTube への動画データのアップロード方法は知っているとのことで、公開法の指導は省略した。
16:55～17:00	【クールダウン】 ● 次回ワークの説明 ● 参加者の感想 ● Q&A

3 日目 1 月 7 日(木)、16:00～16:50 ※ 事務局スタッフも全員リモート参加とした

時間	内容
16:00～16:05	【ウォームアップ】 ● ワークショップの予定。
16:05～16:45	【練習ワーク 2】 上映 ● 完成アニメーション「ありがとう 205系」の発表： ● YouTube: https://youtu.be/iNij6pA4lhk ● Zoom 共有で見る。 ● 参加者のふりかえり。 ● 観客のふりかえり: 参加者 1 名のため、事務局の各人が講評。 ふりかえり 1) ● 参加者が「伝えたいコト」をどのように内省し、表現で工夫したかを、本人に問う。 ● ファシリテーターが、「伝えたいコト」をアニメからどのように感じ取れたかを伝える。 2) ● ファシリテーターが ● 参加者が次につくるとしたら、どのようなことに注意して、どんな工夫をしたいかを問う。 ● 学びを深めること、伝えたいコトの整理法をアドバイスする。 ● アニメ/映像表現で工夫できることをアドバイスする。 ● インターネット公開: 参加者が YouTube アカウントを持ち、動画公開の経験があったため、方法の説明は省略した。 ● 弊法人ウェブサイトで公式版を公開する。 ● 参加者に公式エンドクレジットを除いた動画データを渡し、個人アカウントで YouTube 公開もできるようにする。 ● ネット公開の諸注意を伝える。
16:45～16:50	【クールダウン】 ● 参加者の感想 ● Q&A

4. 参加者が制作したアニメーション

タイトル: ありがとう 205系

伝えたいコト: JR 武蔵野線の列車 205 系が昨秋引退。
ジャカルタで活躍していること。

ふりかえりでの参加者の発言:

「伝えようとしたことがちゃんと伝わった」と思う。

- 後継車両の 231 系が先輩の 205 系に「もうすぐ引退するんだ、今までありがとうね」と伝えた。
- そのあとに「205 系は引退してもジャカルタで走り続けています」と、現在の様子も伝えることができた。
- エンドクレジットで青い背景に灰色背景の「end」文字を下から上に上げながら入れて「終わった」という感じが出た。

出典を明記した。

つづきを作りたくなってきた。次はいろいろなものを使ってまた違う表現ができるかも。

今回は使わなかったが音も使って、風が「ひゅーひゅー」と吹いているとかもできそう。

完成したら YouTube で限定公開する。



<https://youtu.be/iNij6pA4lhk>

5. 当日の記録

1 日目 12 月 27 日 (日)、13:30～16 時

【ウォームアップ】

- ・スタッフ紹介 (伊藤、浪越、細川、佐竹)
- ・学習者 自己紹介

【練習ワーク 0】 進行: 伊藤

「この動きはどんな気持ち？」

[参加者が選んだおにぎり顔と、気持ち]

AL 練習アニメーション 1-1 <https://youtu.be/G6vahKZm4Ks>

顔は No.38。迷っている感じがして、はてなの顔を選んだ。

AL 練習アニメーション 1-1 <https://youtu.be/rB7b3GjWxU>

顔は No.12。暇そうな感じ。ごろごろ蛇行している感じ。

AL 練習アニメーション 1-2 (赤い星の動き) <https://youtu.be/zfyR61jheWY>

顔は No.22。疲れ果てた感じ。マラソンしている最後の方という感じ。ふらふらしている。形より動きが気になる。

AL 練習アニメーション 1-2 (緑の星の動き) https://youtu.be/d37_MS7K67U

顔は No.7。いろいろな方向に動いている。急いでいる感じ。楽しそうでもあるが慌てている。とげとげ。

AL 練習アニメーション 1-3 (青丸+ピンクの障害物) <https://youtu.be/uo7kBEg9SI8>

最初はにこにこ。顔は No.37、何かが来て、何かと不思議に思い No.38 に変わり、最後に No.2。怖い、という感じ。ピンクのものが加わって、それにボールが反応した。

AL 練習アニメーション 1-3 (青丸+緑三角の障害物) https://youtu.be/ZB_vvIo9zao

普通に歩いていたら何かがきて、驚いて逃げ回った。さっきのアニメは避けていたが、次のは逃げ回っている感じ。

※ おにぎり顔カードは開発者 ACT9 のウェブサイトを参照してください: <https://www.act8.tokyo/>

伊藤: アニメはキャラクターがある。いろいろな動物とか。顔や手足がある。今見たのは単純な形。顔も声も無いが、動きで何か伝えたいというのは感じる？

参加者: 性格が表れている感じがする。

伊藤: 顔が無くても動きは大事だということを頭の中になんとかでも入れておいてほしい。見ている人に気持ちが伝わるということ。

【映像あそび】 進行: 細川

細川が設営確認、アプリの説明。

参加者は開始前にタブレットなどを完璧に設営していた。アプリ Stop Motion Studio の使い方の理解も早い。

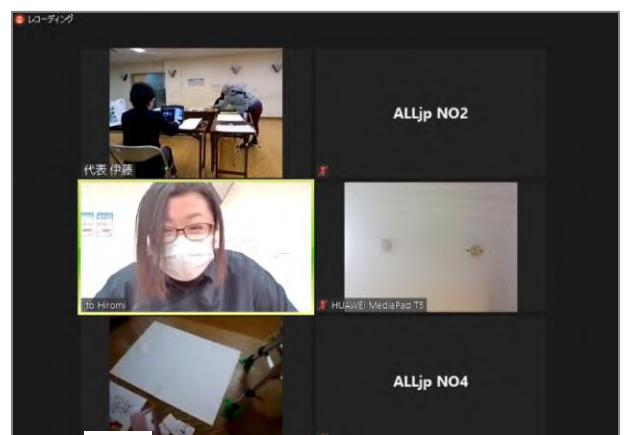
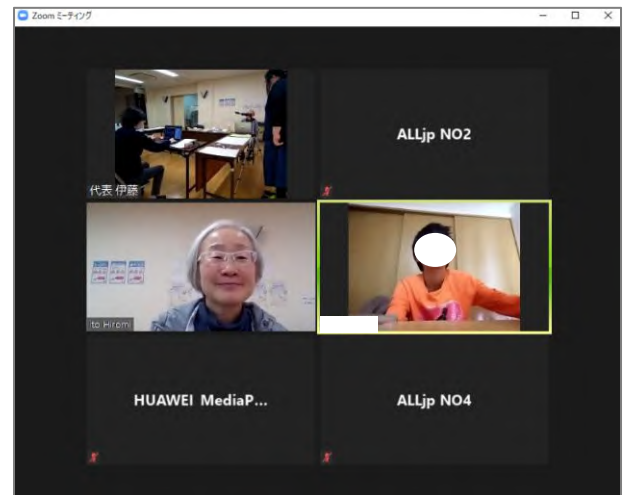
画用紙 2 枚をテープでとめて撮影用ステージとする。

最初はスタッフ側の画面を共有して説明したが、実際に手を動かすようになると、参加者側のアプリ画面を共有しながら説明する方が分かりやすいので、参加者タブレットを共有に切り替えた。

参加者がおにぎり顔を少しずつ動かして撮影する。

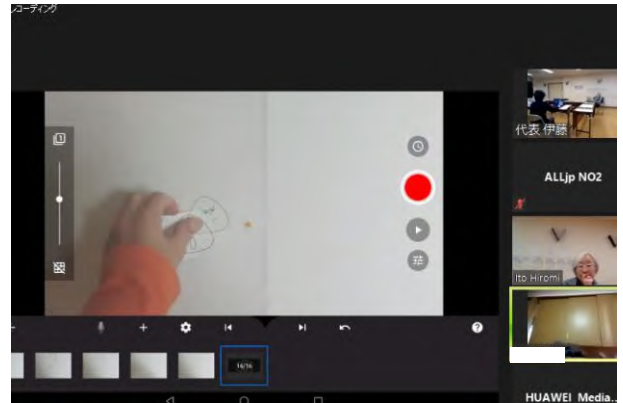
細川がセッティング、撮影した画像の削除の仕方、速い動き・遅い動きなどを説明。

参加者は、「おおお」など、その都度反応が良く、よくわかっている様子がリモート画面から伝わる。



細川： 30 枚目標で、おにぎり顔を動かして撮ってみよう。
どういふのを撮りたいか？
参加者： 歩いている子にぶつかって、ぶつかられた子が泣く
設定にしたい。
細川： ぶつかって泣いたらその後どうなる？

表情の変化をつけて撮影する。
ぶつかって泣いた後、最後は二人で一緒に帰るというアニメが
完成。
練習アニメーション「おにぎり顔」：
<https://youtu.be/vrKr1Kli4mw>



細川： アニメーションは 1 枚の絵だけだと一瞬。もう少し表情を見せたいときは枚数を多めで撮る。
コピペでも良いが、少しずつ動かして撮ると、びっくりして揺れている感じなども出る。

【練習ワーク 1】 進行： 伊藤

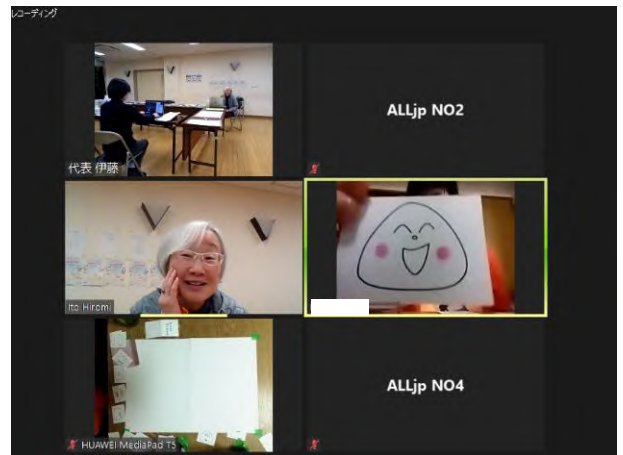
「歩いていたら星が落ちてきた」という設定でアニメーションを
つくる

伊藤： アニメーションには物語が大事。
A があって、何かが起きて B に変わる物語をつくろう。
おにぎり顔 A もおにぎり顔 B も、主人公は参加者本人です。
いまの気持ちのおにぎり顔 → 星が落ちてきたら、
気持ちはどう変わる？

参加者がおにぎり顔「No.37 にこにこ顔」を選び、頬をクレヨン
で赤く塗る。

どのように星が降ってきてどう気持ちが変わるか考えながら、5 分間の撮影。
星が降ってきて、星を持って帰るというアニメが完成。再生。

練習アニメーション「星が降ってきた！」： <https://youtu.be/LpcZG6v3oCk>



伊藤： どういう気持ちの変化？ 気持ちを表す声を付けてみよう。
参加者： 最初は「なんだこれ？」と思って、「あー星だ」となり、「やった！星を持って帰ろう！」。

【練習ワーク 2】 進行： 伊藤

参加者がつくりたいモノをアニメーションにする準備

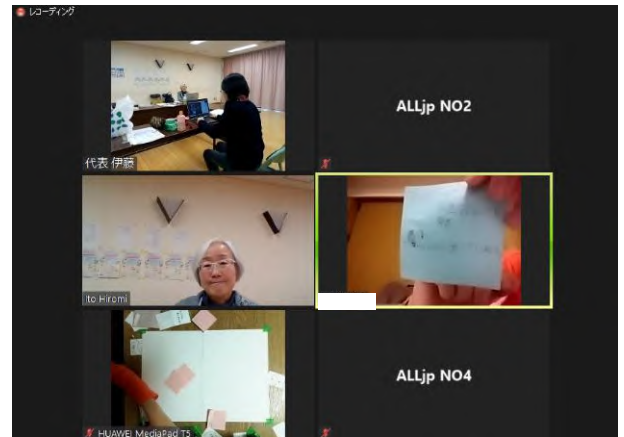
伊藤： 計画を立てて、アニメーションで「伝えたいコト」を伝えよう。
アニメにしたいものは何？

参加者： 電車 205 系の写真を用意した。JR 武蔵野線をは引退して、今はジャカルタで走っている。

伊藤： 何を伝えたいか考えて、アニメをつくろう。
おにぎり顔と同じように画用紙 2 枚を背景にする。
大きくしたいときはズーム機能も使える。
”ひつつきむし”も電車の写真を貼るときに使える。

伊藤： 付箋を使って物語を考えよう。
いつ、どこで、何が…等、思いついたことを書いて欲しい。
例えば、電車 205 系が「どこにいるのか」「どういう季節か」「ひとりなのか」などを付箋に書く。
わたしたちが観客。
「観客に何を伝えたいか？」を考えて。

参加者： 乗客は悲しむ人もいれば、どうでも良い人もいて、電車は海外で活躍する、引退した電車が外国で頑張っているのを知ってほしい。



参加者： 最初に、「僕は武蔵野線 205 系」と自己紹介。
場所は JR 北朝霞駅。2020 年 6 月頃の話。完全に引退したのが 2020 年 10 月。
新型車両 231 系も出てくる。背景も。
「引退します」の発表はテレビのニュースみたいなもので出す。
205 系が「ジャカルタに行くんだ」と言う。
ジャカルタに運ばれていく。

伊藤： インドネシアの人はどう思ったと思う？

参加者： 日本の車両が来て嬉しい。

伊藤： ネットで調べてみても良いかも。

参加者： YouTube でたまに見ている。

伊藤： 画像を借りたいときは？

参加者： 誰から借りた、と書く。自分が撮ったように言うのはダメ。

伊藤： 先ずは、いま出た自己紹介からの流れやアイデアを付箋に書いておいてください。

参加者： 最初に「205 系の物語です」、みたいなのを書きたい。

伊藤： 次回 1/6 にタイトルもつくろう。
1/6 までに、205 系のことなどいろいろ調べてみても良いかもね。

参加者： できる限りやってみる。

伊藤： あとから思いついたことも付箋に書いておいてね。
自分で準備できるものがある場合は無理の無い範囲で準備してください。

参加者： 楽しかった。

2 日目 1 月 6 日 (水)、13:45～17 時

【ウォームアップ・撮影の準備】

【練習ワーク 2】 進行：伊藤

<プリプロダクション：物語づくり>

伊藤： どのようなアニメにしたいか。「いつ」「どこで」「何が」を確認しよう。

参加者： 「いつ」 2018 年 7 月の引退を発表した頃。その後の 2020 年 10 月引退。
「どこで」 JR 北朝霞駅
「何が」 主人公は 205 系
「前回からの変化」 205 系引退を伝える TV ニュースを考えたが、ニュースは出さない。



伊藤： 何を伝えたいの？

参加者：「日本の電車が海外でも頑張っていること」を伝えたい。

伊藤： 付箋を並べて物語をつくろう。思いついたことは忘れないようにどんどん付箋に書いておこう。

参加者： アイディアを思いついた！

鉄道の写真におにぎり顔を付けたい。

伊藤： 何を伝えたいか。どういう顔にする？ おにぎり顔でも、自分で書いても良いよ。

参加者： 205 系がジャカルタに行って嬉しいのか、悲しいのかわからない。

伊藤： 自分が 205 系だったら、どう思うかな？

参加者： 日本で壊れて廃車になるより、海外で使ってもらったほうが良いと思う。205 系の気持ちとしては、嬉しいのかな。

伊藤： そういう気持ちも考えながら作って行こう。

参加者： 海外に行って心配な気持ちと、嬉しい気持ちと、どっちなのか今悩んでいる。

伊藤： 最後どうなるかは、作りながら決めて行こうか。少しずつ撮っていこう。

伊藤： 写真は自分で撮った写真？

参加者： ウィキペディアから。

伊藤： どこから借りたか書かないとね。2つ方法がある。それぞれ書くか、エンドクレジットに入れるか。

参加者(まとめ)ー物語の骨子

「いつ」 2018 年 7 月の引退を発表した頃。その後の 2020 年 10 月引退。

「どこで」 JR 北朝霞駅

「何が」 主人公は 205 系車両

「伝えたいコト」 日本の電車が(インドネシアで)がんばっていると伝えたい。

「物語の流れ」 タイトル → 205 系の自己紹介(「ボクは 205 系」) → 205 系が引退すると話す。

「後輩の登場」 205 系の後継車両「231 系」をサブキャラクターとして登場させる。

「自分の立ち位置」 自分は 205 系が引退すると発表するのを聞く、鉄道ファンのひとり。

【練習ワーク 2】 進行： 細川

<プリプロダクション:キャラクターと背景づくり>

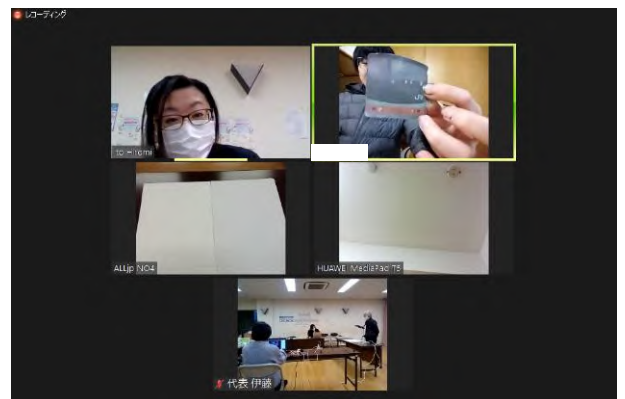
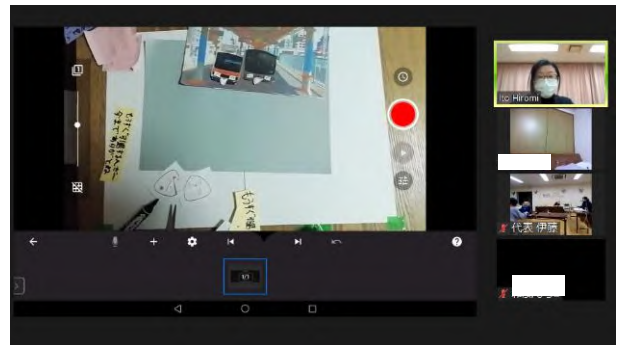
細川： はじめから終わりまであらすじを説明してください。

参加者： 205 系が自己紹介をして、引退することを説明する。
231 系と会話をする。引退した後、205 系はジャカルタでちゃんと走る。

細川： それぞれの絵やパーツを確認しよう。セリフも考えよう。
字幕でもいいし、声を入れても良いね。それぞれのセリフを書いてみよう。

参加者： 最後は字幕を入れたい。「205 系は武蔵野線を引退したけれど、ジャカルタで走り続けています。」と書く。ジャカルタでの写真と一緒に出したい。

細川： ジャカルタのシーンの背景を考えよう。
画用紙 2 枚だけでも空と地面になるよ。
セリフを書く台紙は、205 系と 231 系で色を変えよう。



細川： 全体のタイトルも考えよう。

参加者： タイトルは「ありがとう 205 系」にする。

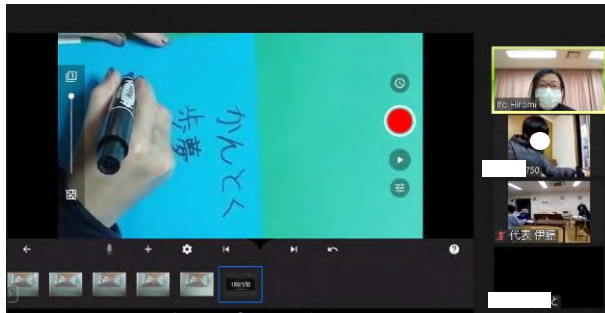
Stop Motion Studio でコマ撮りを始める。

細川： 電車を揺らして撮ると喋っている感じが出るよ。

細川： 北朝霞のシーン完成！

ジャカルタのシーンは、ジャカルタの駅をどうやって登場させようか。画用紙の色を変えても良いね。

エンディングロールもつくろう。



学習者がネットで見つけてアニメで使った写真データの出典もエンドクレジットに書かない、と書き出す。

Wikipedia より

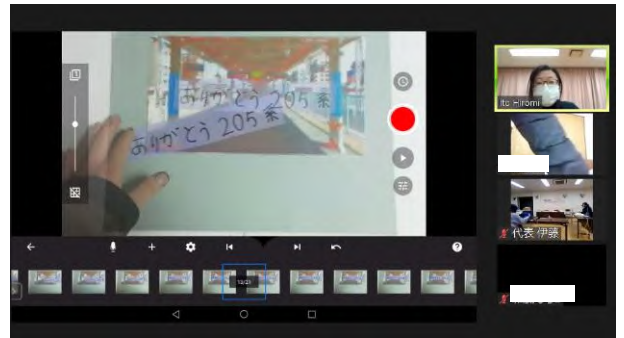
205 系電車の写真

231 系電車の写真

JR 北朝霞駅の写真

JABODETABEK COMMUTERS NEWS より

ジャカルタの 205 系の写真

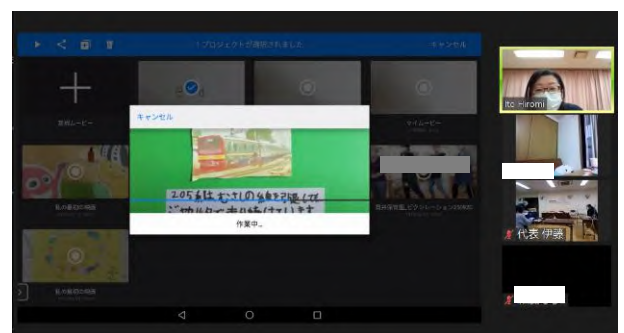


伊藤： インターネットで気を付けることが2つ。人の権利を守ることと自分のプライバシーや権利を守ること。エンドクレジットにウィキペディアの出典などを書くのは人の権利を守るため。

自分のプライバシーや権利を守るために余計な情報(顔写真、名前などの個人情報)を載せないことも大事。

細川： データを書き出して、完成。

伊藤： YouTube にアップして、明日みんなでデータを見ましよう。



3 日目 1 月 7 日 (木)、16 時～17 時

【ウォームアップ】

【上映とふりかえり】

伊藤： 上映会とふりかえりを始めます。

完成したアニメーション「ありがとう 205系」をみましょう。

YouTube で公開した動画を Zoom 共有で見る: <https://www.youtube.com/watch?v=iNij6pA4lhk>



伊藤： 今回伝えたいことは、「205 系が引退したけど外国で頑張っている」ということだが、観客にはこういうところを見て欲しいとか、ちゃんと伝わったかな？感想は？

参加者： 伝えようとしたコトが、ちゃんと伝わったと思う。

(後継電車)231 系が 205 系に、「もうすぐ引退するんだー、今までありがとね」と、ちゃんと言っているから。そのあとに、「205 系は引退してもジャカルタで走り続けています」と、現在の様子も伝えることができたから。

伊藤： 231 系という後輩を出して、それに感謝を言わせたのが良かった？

参加者： 入れ替えるために新しいのが入ってきたので、「ありがとね」と感謝の気持ちを言った。

伊藤： ジャカルタで走っている絵(写真)を入れたのは？

参加者： ジャカルタの写真を入れたことで、引退しても頑張っているのが伝わったと思う。

伊藤： メッセージと写真を一緒に伝えたから見ている人にもわかるようになったのかな？

参加者： 言葉だけでは伝わらないことが、写真でよく伝わったと思う。

伊藤： エンドクレジットも良かったと思う。

参加者： 青い背景のエンドクレジットの上に、(灰色の背景の)「end」の文字を下から上げていったのが良かった。「終わった」という感じが出た。

伊藤： 「end」と言う言葉だけよりも、背景の色を変えたことで雰囲気が違うという感じがした。

佐竹： 電車に顔をつけることで、みんなに感謝の気持ちとかが伝わりやすくなったと思う。(※おにぎり顔の顔パーツを切り取って加えるというアイデアを学習者が出て、電車の写真に目と口を張り付けた)

「ありがとう」と言う言葉も入ってきやすくなった。

ジャカルタの写真を入れてシーンを変えることで、想像がしやすくなった。

「end」のところも良くできていた。

浪越： テーマが良かった。

絵と言葉を組み合わせ、それを動かすことで気持ちが伝わりやすくなった。

自分でちゃんと意図して、考えてつくっていたのがとても良かった。

電車が新旧交代していくところに感動した。続編もつくってほしい。

- 細川： どのシーンもちゃんと動かそうと意識していて、丁寧に作っていたのが良かった。
電車で顔の表情を付けたのが親しみやすく、「おつかれさま」という気持ちがよく伝わった。
- 伊藤： 気持ちを表現することを意識して、アニメーションに気持ちを込めると、見ている人が共鳴できる。
つくる人の気持ちと、見ている人も同じような気持ちになる。
今回は使わなかったけれど音や音楽も気持ちを表すのに良い。
- 参加者： 感動してもらえてよかった。またこのイベントをやってほしい。中学生も参加できるの？
- 伊藤： 中学生にもっと参加してほしい。
アニメを作るのが目的のWSではなく、アニメで何かを伝える、その「何か」が大事。
中学に行くと、もう少し自分で調べようとか、みんなで話し合おうとかの時間が増える。
それを伝えるのに作文もあるけれど、アニメもあるよね。
- 参加者： いろいろな伝え方がある。そのひとつとしてアニメがあると思った。
- 伊藤： 205 系がスクラップにならずにインドネシアで日本の電車が有効活用されているのは参加者に教わって、初めて知った。
JABODETABEK COMMUTERS NEWS のサイト(<http://krl.idblog.jp/>)も知った。
- 参加者： JABODETABEK COMMUTERS NEWS は、写真を見ていたときに画像検索でヒットしたサイト。日本人が作っているジャカルタの鉄道専門のチャンネル。
- 伊藤： 「東洋経済」という経済専門誌のネット版に、ジャカルタでその電車に乗ったという人の記事もあった。
ひとつの電車が国際交流にもなったということを学んだ。
今回自分でいろいろ調べて内容を作ったのも良かった。
- 浪越： 子どもたちにインターネットというツールがあるのがうらやましい。
参加者はとてもよく活用していると思う。
逆に情報が溢れていて良いものも悪いものもあるが、たくさん見て、見る目を養ってほしい。
- 参加者： 普段から YouTube を見ていて、気になる記事をずっと見ていくというようなことをしている。
- 伊藤： タイトルに「205 系」を入れたから、205 系を好きな人が YouTube にアップする参加者さんのアニメを見てくれるかもね。
プロのアニメーターもアニメーションを作るときにものすごくリサーチしている。
- 参加者： 調べて、調べたことを何かにしていくこと。
- 伊藤： もう少しこういう表現したらよかった、というところはあった？
- 参加者： 電車がしゃべるときに揺らすだけでなく、口を動かせるようにしたいと思った。
- 細川： 今回は時間が限られていたが、しゃべっているみたいに動かしたいときは、口の形を作るときに、「あいうえお」の違う形を作って、セリフに合わせて置き換えると良いかも。
- 伊藤： 部品を作るときにある程度計画を立ててつくと良い。
- 参加者： ひつつき虫を初めて使ったけど便利だった。
- 伊藤： 関節と手の部品をつけるときなどに使ったり？
- 細川： アニメーションは固定せず動かせるものとして、オブジェクトを作るのが前提なので便利に使える。
- 伊藤： 205 系を二両編成にするときに使えるかもね。画用紙やキャラクターを仮止めしたり。
- 参加者： 仮止めに便利だった。手足をつけて、手を動かしたり、指でピースする、みたいなこともできるね。

伊藤： 今回、写真のサイズを合わせるために、アプリのズーム機能も使った。
細川： 変化を持たせたり、まわりに写したくないものがあるときなどにも使える。
ちよとずつ大きくして1枚撮って、また1枚、などとやっていくとアニメーションで寄っていったりもできる。

参加者： 機能を使って演出の仕方を変えるなど、やってみたい。

伊藤： 「演出」が大事。
ほかの撮り方のアドバイスは？

細川： 例えばスマホを水平でなく、壁に向けて立て、紙コップとか家にあるものを動かして撮るなど、カメラを向ける方向を意識して変えるといろいろなものを作れると思う。

伊藤： 昨年のWSで、カメラを立てて、紙コップをコマ撮りした例： <https://youtu.be/8wN1LDZbk8o>

佐竹： 表現として「効果」という方法もある。画用紙に、○に線をつけるだけで表現できるし。
煙とか。雲だったら綿を使うとか。ビーズ使ったり、いろいろ作ると楽しい。

伊藤： 家にあるものでいろいろできる。

参加者： 次はいろいろなものを使ってまた違う表現ができるかも。

参加者： 今回は使わなかったが音も使って、風が「ひゅーひゅー」と吹いているとかもできそう。

細川： フリーの音源がネットにいろいろある。フリー、音源、で調べるとたくさん出てくる。

伊藤： ウィンドウズにくっついてるフリーソフトでもいろいろできる。音も入れられる。

参加者： つづきをつくりたくなってきた。できたらメールでおくる。YouTubeで限定公開する。

細川： つづき、楽しみにしています。

伊藤・全員： おつかれさまでした！



はじめよう！アニメテッドラーニング 朝霞で見つけたモノを観察してアニメにしよう！

<<アニメづくりの準備>>

アニメテッドラーニングらぼから貸し出す物品 - ワークショップ終了後に返してください

✧ タブレット(Android)	1 台
✧ タブレット用 AC アダプターとケーブル	1 組
✧ さんきやく 三脚とケース	1 台
✧ タブレットホルダー	1 個
✧ タップ付き延長ケーブル	1 本
✧ スマホ用ホルダー付きミニ三脚: ZOOM 用スマホを置く	1 個
✧ スマホ用アクリルスタンド: ZOOM 用スマホを置く	1 個
✧ 目玉クリップ: 機材などの固定に使う	5 個



ワークの材料 - 返さなくていいです

✧ 白画用紙(260mm x 375mm、10 枚入り)	1 冊
✧ 色画用紙(10 色 10 枚入り)	1 冊
✧ おりがみ(80 枚)	1 パック
✧ ふせん(80 枚)	1 パック
✧ ひつつき虫: キャラクターなどの固定に使う	
✧ ミニ紙コップ トイレットペーパーの芯	2 個
✧ おにぎり顔カードと白紙カード	2 組
✧ ワーク 1 の課題(1/6 まで開かないでください)	1 個

1. さつえい 撮影する場所(さつえい だい 撮影台やステージと呼びます)を決めよう

1 日目(12/27)の練習では、写すものを下に置いて、横むきにしたカメラで上から撮影します。

練習で撮影するモノが平たい紙(切り絵)なので、このように置くと作業しやすいです。

撮影するモノが人形のような立体的な物ならば、カメラを立てて撮影します。



三脚は、写真①～③の置き方があります。

写真①

テーブルや机の上に、三脚と写すモノを置く。

三脚の下に置いた**白い画用紙**に撮影するモノを置きます。

画用紙は **2 枚**つなげて、**コピー紙の 2 倍くらい**の**大きさ**にします。

カメラと画用紙までの距離は 50cm くらいです。

カメラの画面に画用紙がおさまるように、三脚の高さを調整しましょう。

カメラの位置が高すぎてシャッターを押せないなら、写真②や写真③の置き方にしましょう。

踏み台は危ないので、使わないようにしましょう。



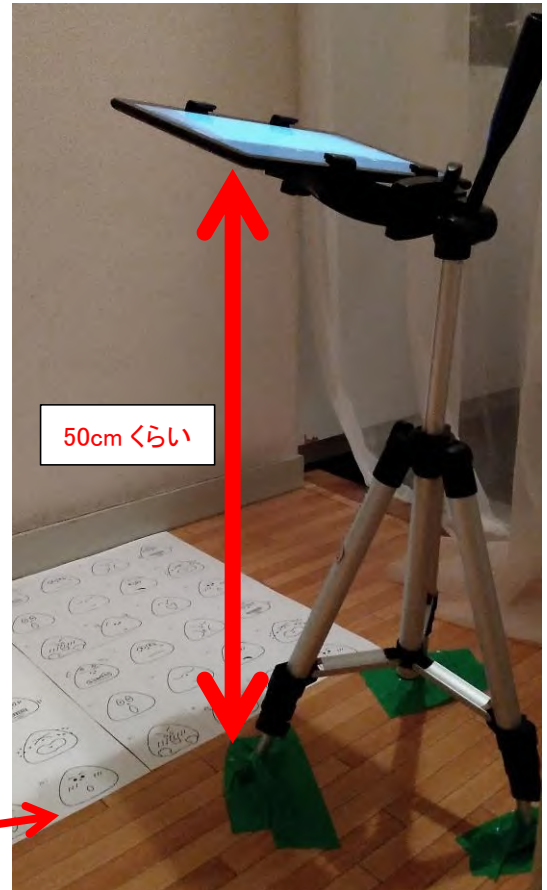
写真②（上）

三脚を床に置いて、テーブルか机に画用紙(写すモノ)を置く。
三脚が安定して、撮影しやすいです。

写真③(右)

三脚を床に置いて、画用紙(写すモノ)も床に置く。

撮影するモノを置く場所として、白い画用紙を2枚つなげて置きましょう。



2. タブレットをホルダーと三脚にセットしよう



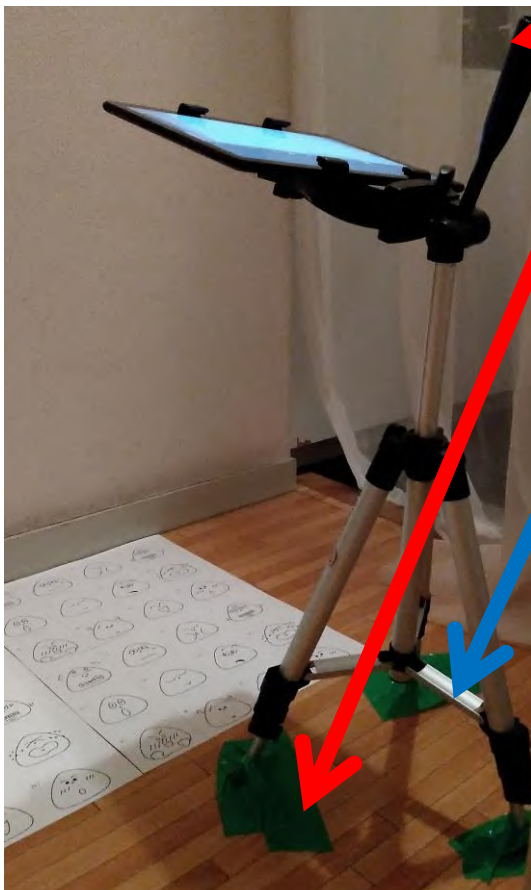
三脚にタブレットホルダーを固定してから、タブレットをホルダーにつけましょう。
赤い矢印の先にネジがあります。ネジをしっかりしめて、ホルダーがグラグラと動かないようにしましょう。



タブレットをホルダーにはさみ、
ネジでしっかり固定しよう。



タブレットホルダーを三脚に固定すると、
タブレットの角度は**三脚のレバー**で調整
できます。



タブレットは床やテーブルなどに、養生テープでしっかり止め
ましょう。

養生テープはなんどもつけたり、はずしたりできるテープで
す。

カメラをつけると、上部が重くなり、バランスが悪くなります。
三脚がたおれたり、タブレットが落ちてしまうことがあるので、
三脚は養生テープでしっかりと固定しましょう。

前にたおれるようなら、三脚の足(青い矢印の先)に重しをつ
けるといいですよ。次ページの写真④を見て！



養生テープで止める



タブレットの電源ボタンはスクリーンの右側にあります。
長押しします。ブルっとしたら、タブレットが起動します。
パスワードはありません。

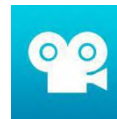
ワークが終わったら、電源ボタンを長押しして、切ってください。

つぎのワークのために充電^{じゅうでん}しましょう。

ワークの間でも、できるだけ充電しましょう。

電源ケーブルが手や足にからまらないように注意してください。

電源ケーブルも床やテーブルに養生テープで止めるといいですよ。



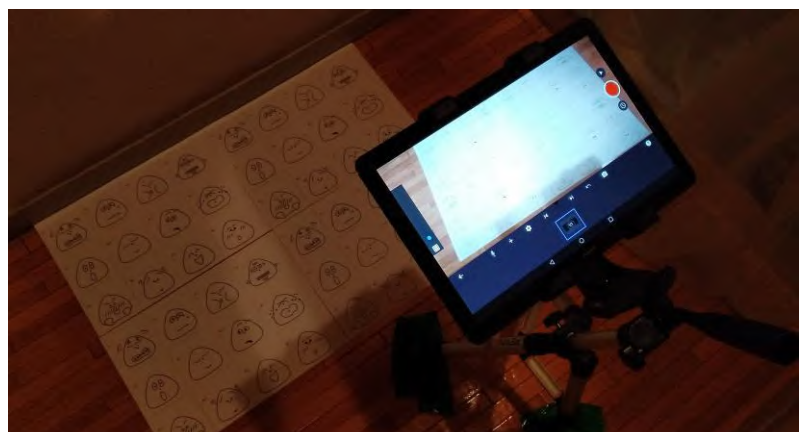
3. 撮影台／ステージができたら、アプリの Stop Motion Studio を起動して、撮影しよう



写真④三脚が前に
たおれないように
本を重しにしている



カメラに入る範囲が撮影できます。
背景や白い紙はずれないように
テーブルや床に、テープ(養生テープやマスキングテープ)で止めておきましょう。



4. 自分のスマホ／タブレット／PC から ZOOM ミーティング参加

ZOOM ミーティング「アニメテッドラーニングの朝霞ワークショップ」に参加してください。

12/27 のログイン ID: 960 4285 3000

パスワード: 487491

<https://zoom.us/j/96042853000?pwd=d3lUTnUzOUJZRnZmbFFJU3dKd1dhQT09>

開始 10 分前、13:20 からログインできます。

こまったら、電話してください。

わたしたち(事務局)の電話番号

自分のスマホ／タブレット／PC(機材)は、つぎのように置いてください。

わたしたち(事務局)と会話する時: 機材に近づいて話してください。わたしたちの作業は、ZOOM のライブカメラ画面や共有で確認できます。

ライブカメラ画面の名前: 代表 伊藤

作業をしている時: **自分が作業している姿を写せる場所に機材を置いてください。**

わたしたちは、その画面でみなさんの作業を見えています。

スマホはミニ三脚に着けたり、アクリルスタンドに置くと、作業中も ZOOM で自分が写ります。

5. 2 日目(1/6)のワーク 2 で、朝霞で見つけたモノを主人公にして物語を考えます

コマ撮りをする前に、物語を考えます。

朝霞で見つけたモノを主人公にして、家族や友だちなどに“**伝えたいコト**”を考えましょう。

ふせんにいろいろなアイデアを書き出し、**ふせん**をならべながら、物語をつくります。

下の写真は、中国とモンゴルから来た留学生が日本の学校の友だちと仲良くなる方法を考えた時のふせんです。
ふせんの上から下へ、物語が進みます。

ワーク 2 で、物語とアニメをいっしょにつくりましょう！



**じょうずにできなくても、
心配しないでください。**



**わからないこと、できないことがあれば、
わたしたちに聞いてください！**

楽しく、物語とアニメをつくりましょう！

